

大溝盆踊り大会開催

大溝公民館 高山準一

8月16日(土)の夕方、大溝地区盆踊り大会を開催しました。

おりしもこの週は連日の雨で、外に櫓ぐらを組んでの盆踊りは無理かもしれないと、心配をしておりましたが、なんと

当日は朝から雨も上がり、盛大に盆踊りを楽しむことができました。

参加者は延べ200人くらい、昨年度からの地域活動に「積極的に参加しよう」の位



▲やぐらの上でも…

置付けのもと、今年も小・中学生が大勢参加し、一層盛りあがりしました。

日ごろ子どもたちと話をする機会の少ないお年寄りも、この日は本当に楽しそうでした。

櫓の上では、分館長や小学生が先頭で踊り、幼児まで加わって、いつも満員盛況で、順番待ちもしばしばでした。

櫓の下では、20、30名が輪になって踊りに興じました。休憩時には汗だくになった

踊り子さんが、かき氷や飲み物で涼を取り、また見物客の中には、踊りを肴に口角沫くまを飛ばしながら、日ごろの疲れをしばし忘れておられました。

広場には、テントを張り、ゴザを敷いた宴席が設けられ、各部の役員さんのお世話でかき氷、ポップコーン、ビール、枝豆等々のお店がならび、どこも取り次ぎや販売で大忙しでした。

▼やぐらの下でも…踊れや踊れ!



踊りも終わりが近づくにつれ、輪がだんだん広がり、飛び入り参加のお婆ちゃんも、まだまだ若い者には負けられないと、大ハッスルでした。遠慮がちだった男性も輪の中に加わり、老いも若きも、わいわいがやがやと時間のたつのも忘れ、一体となって交流を深められた楽しい一日でした。

「河童の涙」公演2003

北伊予中学校 奥村宗明

5月10日(土)に行われた「2003明るい人権の町づくり大会」で、北伊予中学校生徒有志による人権啓発劇「河童の涙」を発表しました。この劇は、昨年度の校区別人権・同和教育懇談会でも発表をしましたが、今年度になって新たに練習や背景画などの準備をし直して発表しました。

メンバーは、生徒会を中心に人権委員を全校生徒から募集し、集まった有志で構成されています。役者グループと裏方グループに分かれ、練習や準備を行いました。役者グループは、それぞれの役になりきり、どうすればこの劇の訴えたいことが伝わるかをお互いにアドバイスしあいながら練習を進めました。また、裏方グループは背景画や小道具・衣装などをアイデアを出し合い、協力しながら制作していきました。この活動を通して、役を演じながら自分を振り返ったり、準備や練習の活動の中でお互いを思いやる

心や連帯感を育てていきました。最後に役者の一人の感想を紹介します。

「私は、このような本格的な劇の練習や発表は初めてでした。最初、何気ない気持ちで始めた人権啓発劇も、今ではとても大きなものとなっています。私のやった役は、いじめをしてはいけないと知って

いながらみんなと一緒にやっていじめをしてしまう役でした。つい友達と合わせてしまうこと、それがいじめにつながっているんだと実感しました。いじめをするのもやめるのも、だれだってできると思います。一人がいじめだしたらみんながいじめしてしまうのと同じように、一人が気づき、そのいじめをやめたら、みんなもやめると思います。だれもがいじめをやめる一人になつたら、きっと差別なんてない明るい学校や社会になると思います。私もその一人になりたいと思います。」